



ソフトウェアの復元またはアンインストール

アップグレードに成功したにもかかわらず、システムが期待どおりに機能しない場合は、以前のバージョンに戻せることがあります。

- メジャーおよびメンテナンスアップグレードを FDM を使用する FDM に戻します。
- FMC および ASDM 展開のパッチをアンインストールします。

これらの方法のいずれも機能しない場合、以前のバージョンに戻すには、イメージを再作成する必要があります。ホットフィックスでは、復元もアンインストールもサポートされていないことに注意してください。アップグレードが失敗した場合は、「[応答しないアップグレード](#)」を参照してください。

- [FDM を使用する FTD の復元 \(1 ページ\)](#)
- [パッチのアンインストール \(1 ページ\)](#)

FDM を使用する FTD の復元

メジャーまたはメンテナンスアップグレードを復元すると、ソフトウェアは（スナップショットとも呼ばれる）アップグレードの直線の状態に戻ります。パッチ適用後に復元すると、パッチも必然的に削除されます。FDM を使用して FTD アップグレードを正常に復元するには、『[Cisco Firepower Threat Defense Configuration Guide for Firepower Device Manager, Version 7.0](#)』の「[System Management](#)」の章を参照してください。

パッチのアンインストール

パッチをアンインストールするとアップグレード前のバージョンに戻り、設定は変更されません。FMC では、管理対象デバイスと同じかより新しいバージョンを実行する必要があるため、最初にデバイスからパッチをアンインストールします。

アンインストールに対応するパッチ

特定のパッチをアンインストールすると、アンインストールが成功した場合でも、問題が発生する可能性があります。次のような問題があります。

- アンインストール後に設定変更を展開できない
- オペレーティングシステムとソフトウェアの間に互換性がなくなる
- セキュリティ認定コンプライアンスが有効な状態（CC/UCAPLモード）でそのパッチが適用されていた場合、アプライアンスの再起動時に FSIC（ファイルシステム整合性チェック）が失敗する



注意 セキュリティ認定の遵守が有効な場合に FSIC が失敗すると、ソフトウェアは起動せず、リモート SSH アクセスが無効になるため、ローカルコンソールを介してのみアプライアンスにアクセスできます。この問題が発生した場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

アンインストールに対応したバージョン 7.0 のパッチ

現在、すべてのバージョン 7.0 パッチがアンインストールに対応しています。

高可用性/拡張性のアンインストール順序

高可用性/拡張性の展開では、一度に 1 つのアプライアンスからアンインストールすることで中断を最小限に抑えます。アップグレードとは異なり、システムはこの操作を行いません。次に移る前に、パッチが 1 つのユニットから完全にアンインストールされるまで待ちます。

表 1: FMC 高可用性のアンインストール順序

設定	アンインストール順序
FMC ハイ アベイラビリティ	同期を一時停止した状態（「スプリットブレイン」と呼びます）で、ピアから一度に 1 つずつアンインストールします。ペアが split-brain の状況で、構成の変更または展開を行わないでください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 同期を一時停止します（スプリットブレインに移行します）。 2. スタンバイからアンインストールします。 3. アクティブからアンインストールします。 4. 同期を再開します（スプリットブレインから抜けます）。

表 2: FTD 高可用性およびクラスタのアンインストール順序

設定	アンインストール順序
FTD ハイ アベイラビリティ	<p>高可用性用に設定されたデバイスからパッチをアンインストールすることはできません。先にハイ アベイラビリティを解除する必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハイ アベイラビリティを解除します。 2. 以前のスタンバイからアンインストールします。 3. 以前のアクティブからアンインストールします。 4. ハイ アベイラビリティを再確立します。
FTD クラスタ	<p>一度に1つのユニットからアンインストールし、制御ユニットを最後に残します。クラスタ化されたユニットは、パッチのアンインストール中はメンテナンス モードで動作します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データモジュールから一度に1つずつアンインストールします。 2. データモジュールの1つを新しい制御モジュールに設定します。 3. 以前のコントロールからアンインストールします。

表 3: ASA フェールオーバーペア/クラスタ内の ASA with FirePOWER Services のアンインストール順序

設定	アンインストール順序
ASA FirePOWER が有効な ASA アクティブ/スタンバイ フェールオーバー ペア	<p>常にスタンバイからアンインストールします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スタンバイ ASA デバイスの ASA FirePOWER モジュールからアンインストールします。 2. フェールオーバーします。 3. 新しいスタンバイ ASA デバイスの ASA FirePOWER モジュールからアンインストールします。

設定	アンインストール順序
ASA FirePOWER が有効な ASA アクティブ/アクティブ フェールオーバー ペア	<p>アンインストールしないユニットの両方のフェールオーバー グループをアクティブにします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プライマリ ASA デバイスの両方のフェールオーバー グループをアクティブにします。 2. セカンダリ ASA デバイスの ASA FirePOWER モジュールからアンインストールします。 3. セカンダリ ASA デバイスの両方のフェールオーバー グループをアクティブにします。 4. プライマリ ASA デバイスの ASA FirePOWER モジュールからアンインストールします。
ASA FirePOWER が有効な ASA クラスタ	<p>アンインストールの前に、各ユニットでクラスタリングを無効にします。一度に1つのユニットからアンインストールし、制御ユニットを最後に残します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データユニットでクラスタリングを無効にします。 2. そのユニットの ASA FirePOWER モジュールからアンインストールします。 3. クラスタリングを再び有効にします。ユニットが再びクラスタに参加するのを待ちます。 4. 各データユニットに対して手順を繰り返します。 5. 制御ユニットでクラスタリングを無効にします。新しい制御ユニットが引き継ぐまで待ちます。 6. 以前の制御ユニットの ASA FirePOWER モジュールからアンインストールします。 7. クラスタリングを再び有効にします。

スタンドアロン FMC パッチのアンインストール

FMC パッチのアンインストールには Web インターフェイスを使用することをお勧めします。Web インターフェイスを使用できない場合は、Linux シェルを、シェルの admin ユーザーまたはシェルアクセス権を持つ外部ユーザーのどちらかとして使用できます。シェルアクセスを無効にした場合は、ロックダウンを元に戻すために Cisco TAC にご連絡ください。



注意 アンインストール中に設定の変更を行ったり、展開したりしないでください。システムが非アクティブに見えても、進行中のアンインストールを手動で再起動、シャットダウン、または再起動しないでください。システムが使用できない状態になり、再イメージ化が必要になる場合があります。アンインストールに失敗する、アプライアンスが応答しないなど、アンインストールで問題が発生した場合には、Cisco TAC にお問い合わせください。

始める前に

- アンインストールによって FMC のパッチレベルが管理対象デバイスより低くなる場合は、最初にデバイスからパッチをアンインストールします。
- 正常に展開され、通信が確立されていることを確認します。

ステップ 1 構成が古い管理対象デバイスに展開します。

アンインストールする前に展開すると、失敗する可能性が減少します。

ステップ 2 [利用可能なアップデート (Available Updates)] で該当するアンインストールパッケージの横にある [インストール (Install)] アイコンをクリックして、FMC を選択します。

パッチのアンインストーラには、アップグレードパッケージと同様に名前が付けられていますが、ファイル名には Patch ではなく Patch_Uninstaller が含まれています。FMC にパッチを適用すると、そのパッチ用のアンインストーラが自動的に作成されます。アンインストーラがない場合は、Cisco TAC までお問い合わせください。

ステップ 3 [インストール (Install)] をクリックしてから、アンインストールすることを確認して再起動します。

ログアウトするまで、メッセージセンターでアンインストールの進行状況を確認します。

ステップ 4 可能なときに再度ログインし、アンインストールが成功したことを確認します。

ログイン時にアンインストールの成功メッセージが表示されない場合は、[ヘルプ (Help)] > [バージョン情報 (About)] の順に選択して、現在のソフトウェアのバージョン情報を表示します。

ステップ 5 管理対象デバイスに構成を再展開します。

高可用性 FMC パッチのアンインストール

FMC パッチのアンインストールには Web インターフェイスを使用することをお勧めします。Web インターフェイスを使用できない場合は、Linux シェルを、シェルの admin ユーザーまたはシェルアクセス権を持つ外部ユーザーのどちらかとして使用できます。シェルアクセスを無効にした場合は、ロックダウンを元に戻すために Cisco TAC にご連絡ください。

高可用性ピアから一度に1つずつアンインストールします。同期を一時停止した状態で、先にスタンバイからアンインストールし、次にアクティブからアンインストールします。スタンバ

いでアンインストールが開始されると、ステータスがスタンバイからアクティブに切り替わり、両方のピアがアクティブになります。この一時的な状態のことを「スプリットブレイン」と呼び、アップグレード中とアンインストール中を除き、サポートされていません。



注意 ペアが **split-brain** の状況で、構成の変更または展開を行わないでください。同期の再開後は変更内容が失われます。アンインストール中に設定の変更を行ったり、展開したりしないでください。システムが非アクティブに見えても、進行中のアンインストールを手動で再起動、シャットダウン、または再起動しないでください。システムが使用できない状態になり、再イメージ化が必要になる場合があります。アンインストールに失敗する、アプライアンスが応答しないなど、アンインストールで問題が発生した場合には、Cisco TAC にお問い合わせください。

始める前に

- アンインストールによって FMC のパッチレベルが管理対象デバイスより低くなる場合は、最初にデバイスからパッチをアンインストールします。
- 正常に展開され、通信が確立されていることを確認します。

ステップ 1 アクティブな FMC で、構成が古い管理対象デバイスに展開します。

アンインストールする前に展開すると、失敗する可能性が減少します。

ステップ 2 アクティブ状態の FMC で、同期を一時停止します。

- a) [システム (System)] > [統合 (Integration)] の順に選択します。
- b) [ハイ アベイラビリティ (High Availability)] タブで、[同期の一時停止 (Pause Synchronization)] をクリックします。

ステップ 3 ピアからパッチを一度に 1 つずつアンインストールします。先にスタンバイで行い、次はアクティブで行います。

「[スタンドアロン FMC パッチのアンインストール \(4 ページ\)](#)」の手順に従います。ただし、初期の展開は省略し、各ピアでアンインストールが成功したことを確認したら停止します。要約すると、各ピアで次の手順を実行します。

- a) [システム (System)] > [更新 (Updates)] ページで、パッチをアンインストールします。
- b) ログアウトするまで進行状況を確認し、ログインできる状態になったら再びログインします。
- c) アンインストールが成功したことを確認します。

ステップ 4 アクティブピアにする FMC で、同期を再開します。

- a) [システム (System)] > [統合 (Integration)] の順に選択します。
- b) [ハイ アベイラビリティ (High Availability)] タブで、[アクティブにする (Make-Me-Active)] をクリックします。
- c) 同期が再開し、その他の FMC がスタンバイモードに切り替わるまで待ちます。

ステップ5 管理対象デバイスに構成を再展開します。

FMCによるデバイスパッチのアンインストール

Linux シェル（エキスパートモード）を使用してデバイスパッチをアンインストールします。デバイスの `admin` ユーザーとして、または CLI 設定アクセス権を持つ別のローカルユーザーとして、デバイス シェルにアクセスできる必要があります。FMC ユーザーアカウントは使用できません。シェルアクセスを無効にした場合は、ロックダウンを元に戻すために Cisco TAC にご連絡ください。



注意 アンインストール中に設定の変更を行ったり、展開したりしないでください。システムが非アクティブに見えても、進行中のアンインストールを手動で再起動、シャットダウン、または再起動しないでください。システムが使用できない状態になり、再イメージ化が必要になる場合があります。アンインストールに失敗する、アプライアンスが応答しないなど、アンインストールで問題が発生した場合には、Cisco TAC にお問い合わせください。

始める前に

- FTD 高可用性ペアを解除します。その他の高可用性や拡張性の展開では、正しいデバイスからアンインストールしようとしていることを確認してください（「[高可用性/拡張性のアンインストール順序（2 ページ）](#)」を参照）。
- 正常に展開され、通信が確立されていることを確認します。

ステップ1 デバイスの設定が古い場合は、この時点で FMC から展開します。

アンインストールする前に展開すると、失敗する可能性が減少します。展開とその他の必須のタスクが完了していることを確認してください。アンインストールの開始時に実行中だったタスクは停止され、失敗したタスクとなって再開できなくなります。後で失敗ステータス メッセージを手動で削除できます。

例外：複数のバージョンが構成されているクラスタや高可用性ペアには展開しないでください。高可用性や拡張性の展開では、最初のユニットからアンインストールする前に展開しますが、すべてのユニットからパッチをアンインストールするまでは再度展開しないでください。

ステップ2 デバイスの Firepower CLI にアクセスします。 `admin` として、または設定アクセス権を持つ別の CLI ユーザーとしてログインします。

デバイスの管理インターフェイスに SSH 接続するか（ホスト名または IP アドレス）、コンソールを使用できます。コンソールを使用する場合、一部のデバイスではデフォルトでオペレーティング システムの CLI に設定されており、Firepower CLI にアクセスする場合は追加の手順が必要になります。

Firepower 1000 シリーズ	<code>connect ftd</code>
Firepower 2100 シリーズ	<code>connect ftd</code>

Firepower 4100/9300	connect module slot_number console、次に connect ftd (最初のログインのみ)
ASA FirePOWER	session sfr

ステップ3 expert コマンドを使用して Linux シェルにアクセスします。

ステップ4 アップグレードディレクトリにアンインストールパッケージがあることを確認します。

```
ls /var/sf/updates
```

パッチのアンインストーラには、アップグレードパッケージと同様に名前が付けられていますが、ファイル名には Patch ではなく Patch_Uninstaller が含まれています。デバイスにパッチを適用すると、そのパッチ用のアンインストーラがアップグレードディレクトリに自動的に作成されます。アンインストーラがない場合は、Cisco TAC までお問い合わせください。

ステップ5 uninstall コマンドを実行し、プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。

```
sudo install_update.pl --detach /var/sf/updates/uninstaller_name
```

注意 確認を求められることはありません。このコマンドを入力すると、デバイスの再起動を含むアンインストールが開始されます。アンインストール時のトラフィックフローとインスペクションの中断は、アップグレード時に発生する中断と同じです。準備が整っていることを確認してください。--detach オプションを使用すると、SSH セッションがタイムアウトした場合にアンインストールプロセスが強制終了されなくなり、デバイスが不安定な状態になる可能性があることに注意してください。

ステップ6 ログアウトするまでアンインストールを監視します。

個別のアンインストールの場合は、tail か tailf を使用してログを表示します。

- FTD : tail /ngfw/var/log/sf/update.status
- ASA FirePOWER および NGIPSv : tail /var/log/sf/update.status

それ以外の場合は、コンソールか端末で進行状況を監視します。

ステップ7 アンインストールが成功したことを確認します。

アンインストールが完了したら、デバイスのソフトウェアバージョンが正しいことを確認します。FMC で、[デバイス (Devices)] > [デバイス管理 (Device Management)] の順に選択します。

ステップ8 構成を再展開します。

例外: 複数のバージョンが構成されているクラスタや高可用性ペアには展開しないでください。展開は、すべてのユニットでこの手順を繰り返した後にのみ行います。

次のタスク

高可用性や拡張性の展開では、各ユニットに対して計画した順序でこの手順を繰り返します。その後、最終的な調整を行います。次に例を示します。

- FTD 高可用性については、高可用性を再確立します。
- FTD クラスタについては、特定のデバイスに優先するロールがある場合は、それらの変更をすぐに行います。

ASDM による ASA FirePOWER パッチのアンインストール

Linux シェル (エキスパートモード) を使用してデバイスパッチをアンインストールします。デバイスの `admin` ユーザーとして、または CLI 設定アクセス権を持つ別のローカルユーザーとして、デバイス シェルにアクセスできる必要があります。シェルアクセスを無効にした場合は、ロックダウンを元に戻すために Cisco TAC にご連絡ください。



注意 アンインストール中に設定の変更を行ったり、展開したりしないでください。システムが非アクティブに見えても、進行中のアンインストールを手動で再起動、シャットダウン、または再起動しないでください。システムが使用できない状態になり、再イメージ化が必要になる場合があります。アンインストールに失敗する、アプライアンスが応答しないなど、アンインストールで問題が発生した場合には、Cisco TAC にお問い合わせください。

始める前に

- ASA のフェールオーバーやクラスタの展開では、正しいデバイスからアンインストールしようとしていることを確認してください (「[高可用性/拡張性のアンインストール順序 \(2 ページ\)](#)」を参照)。
- 正常に展開され、通信が確立されていることを確認します。

ステップ 1 デバイスの設定が古い場合は、この時点で ASDM から展開します。

アンインストールする前に展開すると、失敗する可能性が減少します。展開とその他の必須のタスクが完了していることを確認してください。アンインストールの開始時に実行中だったタスクは停止され、失敗したタスクとなって再開できなくなります。後で失敗ステータス メッセージを手動で削除できます。

ステップ 2 ASA FirePOWER モジュールの Firepower CLI にアクセスします。 `admin` として、または設定アクセス権を持つ別の Firepower CLI ユーザーとしてログインします。

モジュールの管理インターフェイスに SSH 接続するか (ホスト名または IP アドレス)、コンソールを使用できます。コンソールポートはデフォルトで ASA CLI に設定されており、Firepower CLI にアクセスするには `session sfr` コマンドを使用する必要があることにご注意ください。

ステップ 3 `expert` コマンドを使用して Linux シェルにアクセスします。

ステップ 4 アップグレードディレクトリにアンインストールパッケージがあることを確認します。

```
ls /var/sf/updates
```

パッチのアンインストーラには、アップグレードパッケージと同様に名前が付けられていますが、ファイル名には `Patch` ではなく `Patch_Uninstaller` が含まれています。デバイスにパッチを適用すると、そ

のパッチ用のアンインストーラがアップグレードディレクトリに自動的に作成されます。アンインストーラがない場合は、Cisco TAC までお問い合わせください。

ステップ 5 `uninstall` コマンドを実行し、プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。

```
sudo install_update.pl --detach /var/sf/updates/uninstaller_name
```

注意 確認を求められることはありません。このコマンドを入力すると、デバイスの再起動を含むアンインストールが開始されます。アンインストール時のトラフィックフローとインスペクションの中断は、アップグレード時に発生する中断と同じです。準備が整っていることを確認してください。--detach オプションを使用すると、SSHセッションがタイムアウトした場合にアンインストールプロセスが強制終了されなくなり、デバイスが不安定な状態になる可能性があることに注意してください。

ステップ 6 ログアウトするまでアンインストールを監視します。

個別のアンインストールの場合は、`tail` か `tailf` を使用してログを表示します。

```
tail /ngfw/var/log/sf/update.status
```

それ以外の場合は、コンソールか端末で進行状況を監視します。

ステップ 7 アンインストールが成功したことを確認します。

アンインストールが完了したら、モジュールのソフトウェアバージョンが正しいことを確認します。[設定 (Configuration)]> [ASA FirePOWERの設定 (ASA FirePOWER Configuration)]> [デバイス管理 (Device Management)]> [デバイス (Device)] の順に選択します。

ステップ 8 構成を再展開します。

次のタスク

ASA のフェールオーバーやクラスタの展開では、各ユニットに対して計画した順序でこの手順を繰り返します。